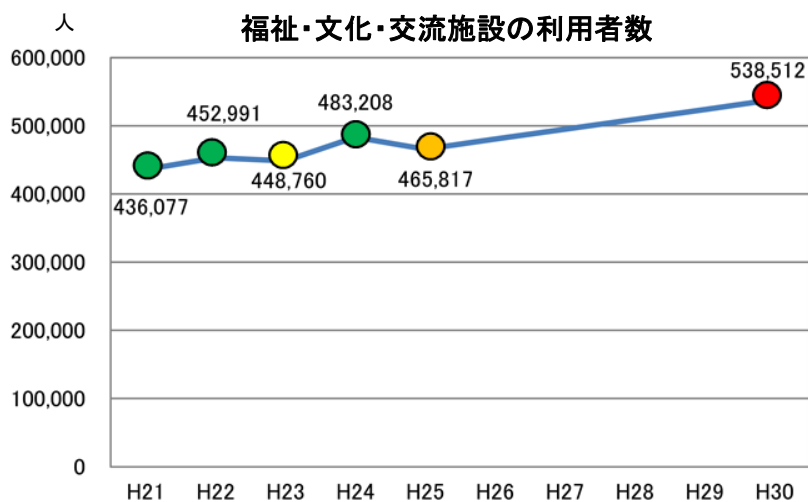
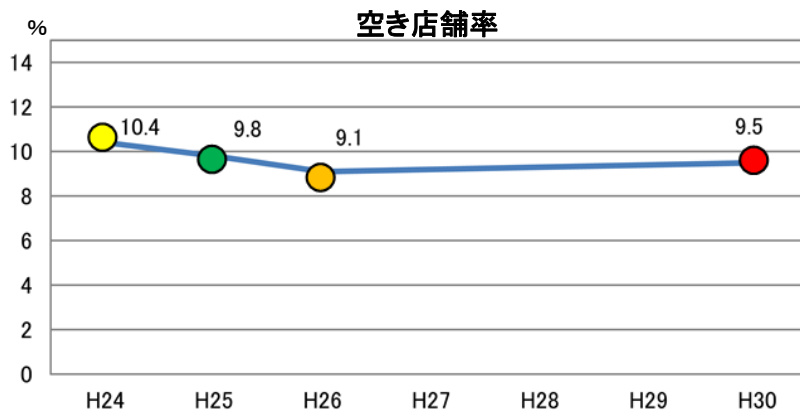
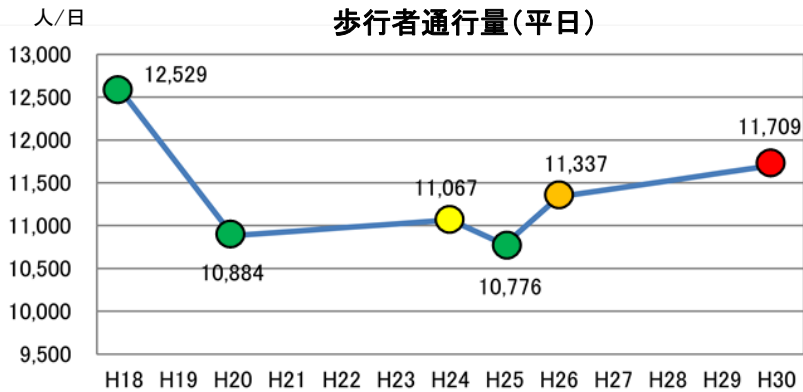


16. 住宅・住生活

① “まちなか” の魅力向上

■ 中心市街地の活性化

- 「草津市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成 25 年 12 月～平成 31 年 3 月）」に基づき、「元気」と「うるおい」のある生活交流都市の創造を基本理念に掲げ、「歩いて楽しい回遊性の高いまち」、「個性的で魅力のある店舗が集積するまち」、「幅広い世代が交流するまち」を目標に、草津駅を中心とした三つのエリア（駅東エリア、駅西エリア、本陣周辺エリア）を、再整備する草津川跡地と歴史街道の二つの軸で結びつけ、まちなか全体に賑わいを波及させます。

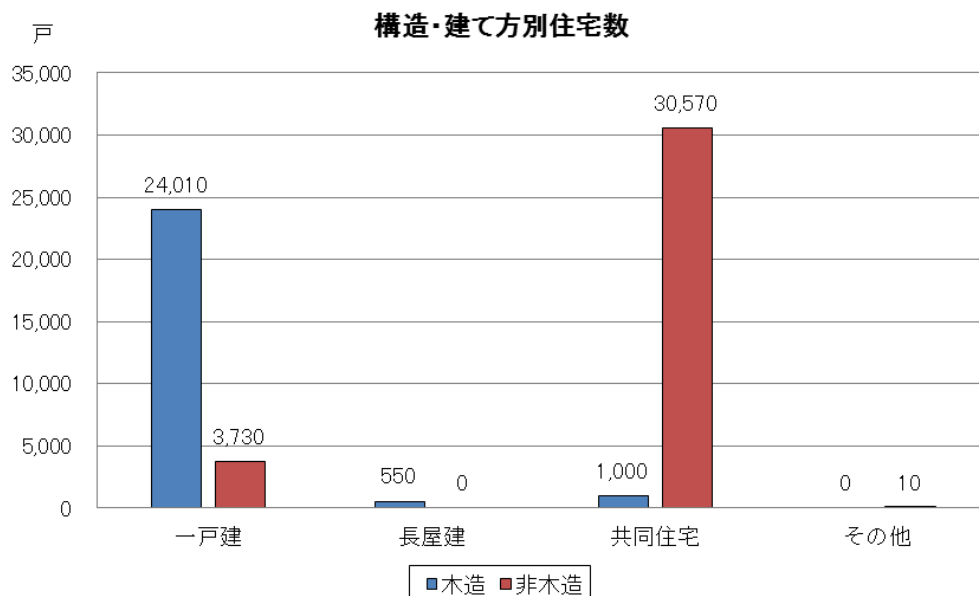


資料：まちなか再生課

②住まいと住生活の魅力向上

■構造・建て方別住宅数

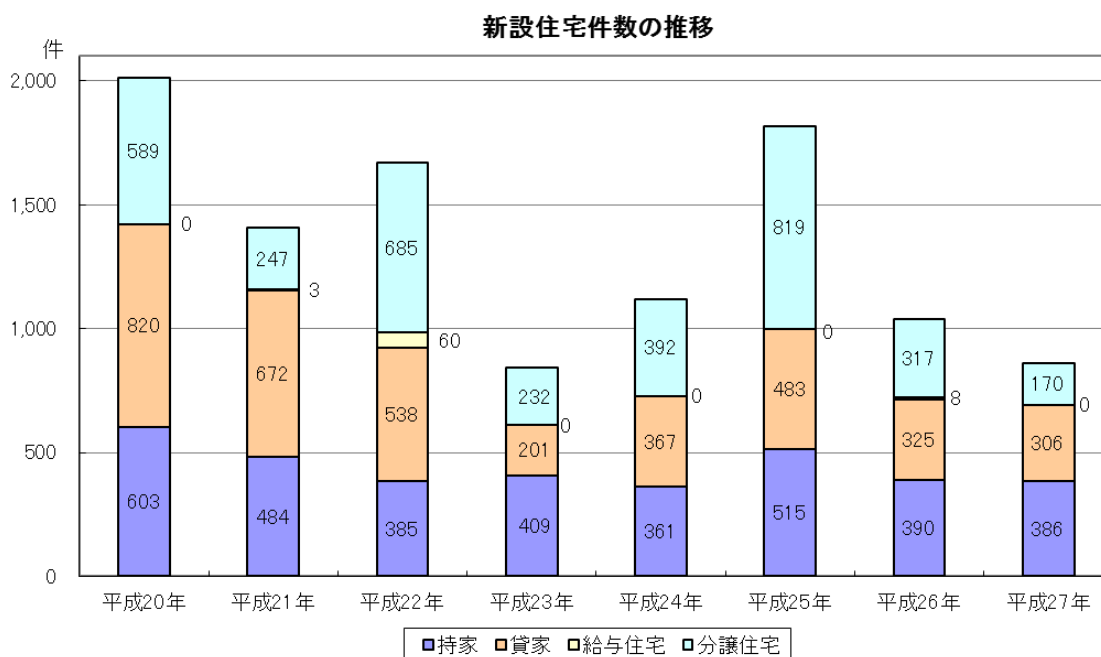
- ・ 建て方別では一戸建が全体の約 46%、共同住宅が約 52%を占めています。
- ・ 一戸建では約 87%が木造であり、共同住宅では逆に約 97%が非木造になっています。



資料：平成 25 年 住宅・土地統計調査

■新設住宅件数の推移

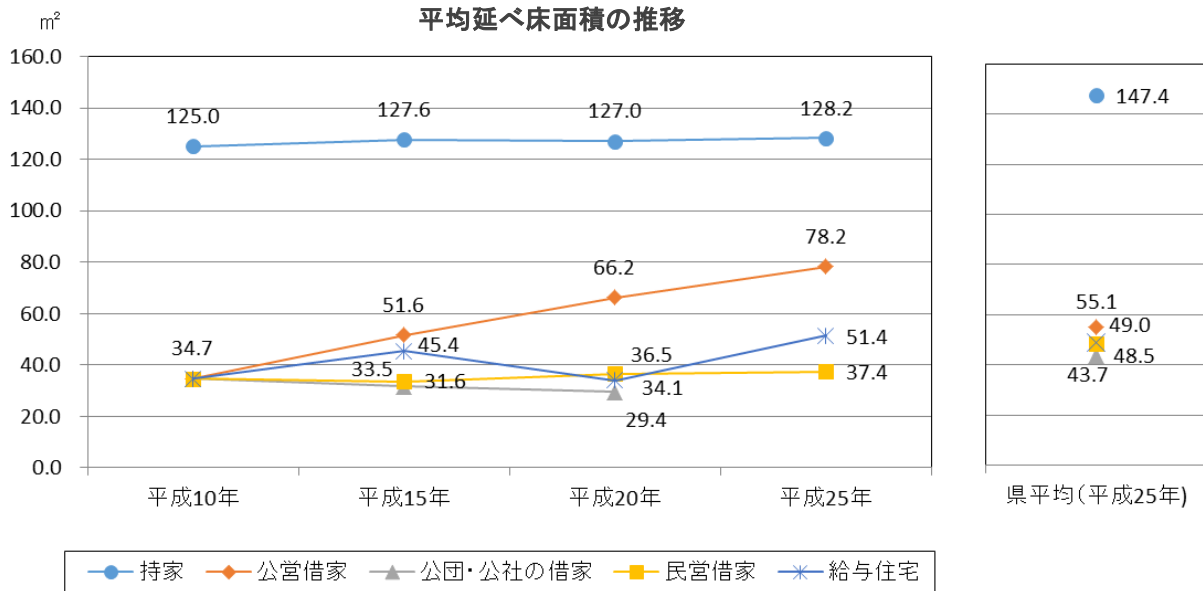
- ・ 平成 27 年の持家の新設住宅件数は、862 件となっています。
- ・ 貸家については、平成 20 年は年間 800 戸以上建設されていましたが、減少傾向にあり、平成 27 年には 306 件となっています。
- ・ 分譲住宅については、多い年で平成 22 年に 685 件、平成 25 年に 819 件となっています。



資料：建築着工統計調査

■平均延べ床面積の推移

- 平成 25 年における持家の平均延べ床面積は 128.2 m²と県平均（147.4 m²）と比較して狭くなっています。
- 公営借家の平均延べ床面積は 78.2 m²と県平均（55.1 m²）と比較して広いものの、民営借家の平均延べ床面積は 37.4 m²と県平均（47.3 m²）と比較して狭くなっています。



資料：平成 27 年 住宅・土地統計調査